

2023年9月10日(日) マイカ 豊漁丸

若潮:旧7月26日 干潮 17:54(21cm) 満潮 翌日10:07(45cm) 敦賀

私 マイカ 15杯 ツレ マイカ 14杯 スルメイカ 1杯

16時30分 集合、受付 釣り座のくじ

17時30分 出船

17時54分 干潮 (21cm 敦賀)

12時00分 納竿

【料金】 スーパーロング便 14,000円 氷付き
釣り座は抽選
半夜便 13,000+1,000円(1時間延長)

【仕掛け】 イカメタルとオモリグを持参

鉛スツテとドロPPERまでの間は1.2m。

ドロPPERのハリスは3cm。幹糸・ハリスとも3号。

イカメタルの鉛スツテは25号、

オモリグのオモリは30号と指定があった。

※鉛スツテ 四ツ目 赤白、赤黄、赤緑を使用した。

赤白(2個)、赤黄(2個)はサゴシに糸を切られ、なくした。

赤緑はサゴシにかじられ、巻いてある布がボロボロとなった。

ドロPPER エギ1.8号オレンジ、イーゼースリム赤緑もなくなった。

※水深30m~50mまでを狙うと指示があった。オモリグはスピニングリールでやる予定だったので、やらなかった。

【様子】

○深夜便(22時00分出船)を予約したが、前日に「深夜便は船が小さくなる。今なら半夜便(スーパーロング便)に変更可能ですがどうしますか」と連絡があった。半夜便の方が、月がない時間帯であり、風が弱い予報であったことから、スーパーロング便に変更した。

○「棚は30m~50m。50mより深い所はやらない。」と指示があった。「50mより深い所を狙うと、サゴシ、サバにやられるし、また、サゴシ、サバが浮いてくるので釣りにならなくなる。協力をお願いします。」とアナウンスがあった。

○釣り始め、しばらくして当たりがあった。水深45m。

○また、しばらくして当たった。巻き上げてきたら、大きなフグが掛かったイカを追いかけてきた。イカの身が半分くらい喰われていた。イカが掛かったら、大急ぎで巻き上げることにした。

○船中、ポツリポツリと上がってくるが、自分には当たりがない。

○ツレはよく釣れているようで、釣り方を教えに来てくれた。話を聞いている途中に当たりがあり、やっと一杯追加した。ツレの釣り方をまねしてから釣れるようになった。

○かんにイカが白くなりかけてきたので、クーラーボックスに入れた。自分は7杯、ツレは13杯だった。

○少し当たりが遠のいた。自分はイカを5杯追加した。

○当たらなくなった。拾い釣りと考え、水深50~30mを丁寧に探った。深い所で当たりがあった。3杯追加して納竿となった。



さっそく、マイカはイカ刺で、スルメイカはイカ大根で食べた。美味しかった。

○ドラッグ調整

マイカは身が弱くて、マイカが強く引くと身切れしてしまう。ツレが数回こういう状況になった。これを防ぐにはドラッグ調整が必要だ。手で糸を引っ張ったとき(引き方は強すぎず弱すぎず)、ドラッグがすべる状態にする。当たりがあったら、ドラッグが滑らないようにリール(糸が巻かれているところ)を親指で押さえて合わせる。イカが掛かったら、親指を離し、ドラッグがすべる状態にして巻き上げる。